

2018年6月1日

報道関係各位

計1枚

北海道の名付け親 松浦武四郎生誕 200 年記念イベント
シンポジウム「一畳敷の世界を探究する」開催
2018年10月6日(土) 13:00~16:30

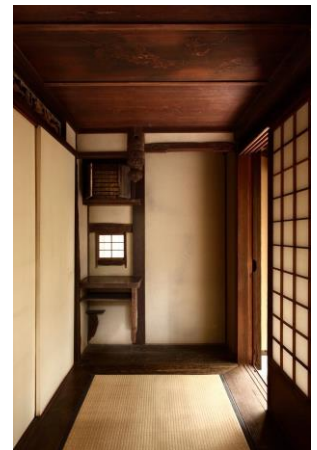
国際基督教大学(ICU:東京都三鷹市)は、北海道の名付け親として知られる松浦武四郎の生誕 200 年を記念し、松浦武四郎の生まれ故郷である三重県松阪市と連携し、シンポジウム「一畳敷の世界を探究する」を開催します。

<シンポジウムの概要>

晩年の松浦武四郎が、全国各地の神社仏閣の木片を譲り受けて建てた小さな書斎「一畳敷」。あるじを代え、土地を転々と移り、関東大震災や東京大空襲を生き延び、130年の時を超えてその姿をICUのキャンパスに残しています。そこから広がる大きなメッセージが、21世紀の日本と世界に、いま発信されます。

松浦武四郎とは何者か。なぜ一畳だったのか。用材はいつ、どこから集められて、どのように造られたのか。「北海道の名付け親」として知られる武四郎にもかかわらず、なぜ北海道の木片はないのか。なぜ一畳敷がICUにあるのか。

国の登録有形文化財とされる契機となった『泰山荘-松浦武四郎の一畳敷の世界』の著者ヘンリー・スミス氏(コロンビア大学名誉教授)をはじめ、松浦武四郎研究の第一人者・山本命氏(松浦武四郎記念館主任学芸員)、三浦泰之氏(北海道博物館学芸主幹)とともに一畳敷の世界を探究します。



一畳敷

シンポジウム「一畳敷の世界を探究する」

日時: 2018年10月6日(土) 13:00~16:30

(事前申し込み制、定員400名。聴講無料。詳細は大学オフィシャルWebサイトやプレスリリースにて後日発表。)

会場: 国際基督教大学ディッフエンデルファー記念館東棟オーディトリウム

主催: 国際基督教大学 共催: 三重県松阪市 後援: 東京都三鷹市

なお、上記シンポジウムは、本学博物館湯浅八郎記念館主催の下記特別展の関連イベントとして開催するものです。また、本学歴史資料室においても連携して、下記のとおり企画展をおこないます。あわせてご紹介・ご取材ください。そのほか、三重県松阪市において、松浦武四郎生誕200年記念事業として、10月13日(土)に松浦武四郎フォーラムの開催が予定されています。

■特別展「ICUに残る一畳敷」

期間: 2018年9月11日(火)~2018年11月9日(金) (10/6は、10:00~16:30開館)

会場・主催: 国際基督教大学 博物館 湯浅八郎記念館 入館無料

■企画展「パイオニアたれ-松浦武四郎と明治知識人の系譜-」

期間: 2018年10月6日(土)~2019年6月15日(土) (10/6は、9:00~12:00、13:00~16:30開館)

会場・主催: 国際基督教大学 歴史資料室 入館無料

取材に関する問い合わせ先: 国際基督教大学(ICU)パブリックリレーションズ・オフィス 担当: 佐藤・橋本

Tel: 0422-33-3040 Fax: 0422-33-3355 E-mail: pro@icu.ac.jp